

令和元年度 次世代国産花き産業確立推進事業 報告書

1 花き関係者の連携への支援

- (1) 地域協議会の設置・運営
年8回、地域協議会を開催し、福岡県の花きの振興方針及び具体的な事業の実施方策を検討するとともに、関係機関・団体の連絡調整を行った。
- (2) 戦略品目の設定
輪ギク、トルコギキョウ、カーネーション、ガーベラ、リンドウ、ケイトウ、アジサイ（鉢物）の7品目を設定した。

2 花き品目の特徴に対応した生産・流通・消費拡大の取り組み

- (1) 生産・供給体制の強化
需要に応じた国産花きの生産及び安定供給体制の確立を図るため、実証ほを県下15カ所に設置した。
 - ・設計検討会
日時：令和元年6月11日（水） 14：00～16：30
場所：福岡県花卉農業協同組合 研修室
 - ・実績検討会
日時：令和2年3月5日（木） 10：00～16：00
場所：福岡県庁 農林水産部会議室

①低コスト・省力生産技術等の導入実証

設置場所	内容
糸島市、福津市、久留米市、嘉麻市、大任町	緑色LED電照を用いたトルコギキョウのヤガ類被害軽減と防除コスト削減の実証
糸島市、宮若市、田川市	トルコギキョウ生産における地温・生育に応じた灌水管理による安定生産技術の実証
うきは市	カーネーションのLED電照を用いた開花促進による増収技術の実証
築上町	簡易移植機を活用したケイトウ定植作業の省力化の検証

②高品質化生産技術等の導入実証

設置場所	内容
朝倉市、筑前町、久留米市、大川市	アジサイのもの日需要の共選共販に対応できる温湿度管理技術の実証
宮若市	夏季の簡易遮光によるリンドウの品質・収量の向上の実証

③その他戦略品目の生産・供給体制の強化に資する技術の導入実証

設置場所	内容
八女市他	夏秋ギクの実需者が求める出荷規格に対応する栽培技術の実証
広川町	ガーベラ高設栽培における炭酸ガス施用が増収に及ぼす影響（豪雨災害により中止）

(2) 需要の拡大

① 消費拡大プロモーション活動

戦略品目を中心とした県産花きを利用した消費拡大プロモーション活動を、公共施設、各種イベント等を活用して行った。

(ア)生産者と消費者交流による消費拡大

内容	期日	場所
花祭 HANA ma TREE	R1. 5.18～19	筑後市 (サザンクス筑後)
重陽の節句PR	R1. 10.27～28	筑後市 (九州芸文館)
ウィークエンドフラワーPRイベント	R1. 9～11月	福岡市、北九州市

(イ)花き関係以外のイベントと連携した戦略品目のPRによる消費拡大

内容	期日	場所
飯塚新人音楽コンクール	R1. 6. 1	飯塚市
TGC 北九州	R1. 10. 5	北九州市
福岡マラソン2019	R1. 11.10	糸島市
福岡県食育・地産地消フェア	R1. 11. 3	福津市 (イオンモール福津)
「海の道 むなかた館」PRイベント	R1. 11. 2～9	宗像市
かるた祭り	R2. 1.11～13	アクロス福岡
城島酒蔵びらき	R2. 2.15～16	久留米市 (城島町民の森)
さわらサミット2020in 芦屋町	R2. 2.23	芦屋町
飯塚・田川ひなのまつり	R2. 2.22～3.9	田川市、飯塚市

(ウ)県内花き市場での戦略品目PRによる消費拡大

内容	期日	場所
北九州フラワーフェスタ	R1. 9. 8	北九州フラワー流通センター
北九州花ロマン祭	R1. 10.27	北九州花市場
久留米ほとめきよ花っ祭	R1. 11.16	久留米花市場

(エ)県産花き(戦略品目)をPRするイベントによる消費拡大

内容	期日	場所
花あふれるふくおか企画展	R1. 5.20～ 7.12	福岡県庁 (よかもんひろば)
高校生花いけバトル	R1. 7.28	アクロス福岡
アンテナレストラン「福扇華」におけるフラワーアレンジレッスン	R1. 7.20 R1. 9. 7 R1. 11. 2	東京「福翁華」
「飯塚華あそび」での小学生アレンジコンテスト飯塚地区予選	R1. 9.28	飯塚市
小学生アレンジコンテスト福岡地区予選	R1. 11. 4	福岡市
県産花きのコンテスト及び展示会	R1. 11.16～17	アクロス福岡
福岡県農林水産まつり	R1. 11.16～17	天神中央公園
ふくおかフラワーフェア	R2. 2. 1～2	ソラリアプラザ ゼファ およびライオン広場

(オ) もの目を活用した消費拡大

内容	期日	場所
敬老の日 PR	R1. 9. 7～21	久留米市他
ハロウィン PR	R1. 10. 25～27	福岡市
いい夫婦の日 PR	R1. 11 月	福岡市、北九州市
フラワーバレンタイン PR	R2. 1～ 2 月	福岡市、那珂川市
企業でのフラワーバレンタイン PR	R2. 2. 4～17	福岡銀行

② 生産者と実需者の連携促進

(ア) 「ふくおかフラワートレードフェア in Osaka」の開催

J A 全農ふくれんと連携し、関西の主要取引市場である「なにわ花いちば」において、フラワーギャラリーでの県産花きの展示、仲卸での販売促進、生産者と実需者との商談、市場関係者との意見交換を行い、県産花きの販路拡大を図った。

日 時：令和 2 年 1 月 2 0 日(月)～ 2 4 日(金) 場内展示

1 月 2 4 日(金) 仲卸での販促、商談・意見交換

場 所：なにわ花いちば(大阪府鶴見区茨田大宮)

出 展：5 J A (J A 福岡市、J A 糸島花卉販売委員会、J A にじ草花部会、J A ふくおか八女、J A みなみ筑後花き部会)

その他 市場、買参人へのアンケートを実施し、県内 J A の改善項目等を調査。

(イ) 「九州花フェア in 福岡」への参加

九州生花商団体連合会福岡大会にあわせて、九州各県・団体が連携して開催された「九州花フェア in 福岡」に県内の 5 J A、2 団体が参加した。「九州花フェア」には、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎とあわせて 14 団体が参加し、九州産の花きを P R した。

日時：令和 2 年 2 月 1 日(土) 1 2 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0

県内の参加団体：J A 福岡市、J A 糸島花卉販売委員会、J A にじ、J A ふくおか八女花き生産部会連絡協議会、J A みなみ筑後ダリア・リキュウソウ部会、筑豊フラワーコミュニティ、久留米地区三農振協

③ 花育・園芸体験による花きの活用促進

(ア) 花育体験

県内の学校等で、フラワーアレンジメント製作体験等を実施し、花の癒し効果を体感していただいた。体験には生産者も参加し、参加者への花の説明などを行った。 のべ参加者：生徒 183 名

場所	実施主体	内容	実施日	参加者数
福岡県立糸島農業高校	福岡県花き園芸連合会 一般草花部会	アレンジメント製作	R1. 10. 10	76 名
筑前町あさひ保育園	朝倉地域担い手・産地育成協議会	アレンジメント製作	R1. 10. 28	35 名

場所	実施主体	内容	実施日	参加者数
筑後市立筑後小学校	筑後市地産地消推進協議会(八女普及指導センター推薦)	アレンジメント製作	R1. 11. 13	32名
福岡市立福岡女子高校	福岡県花き園芸連合会カーネーション部会	アレンジメント製作	R2. 2. 4	40名

(イ) 福祉園芸体験

県内 3 か所の特別支援学校で、ハンギングバスケット製作や卒業のフラワーアレンジメント製作体験を実施し、花の癒し効果を体感していただいた。体験には生産者も参加し、参加者と交流した。 のべ参加者：生徒 89 名

場所	内容	実施日	参加者数
福岡市立特別支援学校「博多高等学園」	ハンギングバスケット製作	R1. 11. 20	12名
福岡県立福岡高等聴覚特別支援学校	ハンギングバスケット製作	R1. 11. 22	15名
福岡県立古賀特別支援学校高等部	ハンギングバスケット製作	R1. 12. 5	18名
福岡市立特別支援学校「博多高等学園」	アレンジメント製作	R2. 2. 25	44名
福岡県立福岡高等聴覚特別支援学校	コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
福岡県立古賀特別支援学校高等部	コロナウイルス感染拡大防止のため中止		

④ その他戦略品目の需要拡大に資する取り組み

NPO法人と連携し、小学生の産地訪問やお花屋さん体験、アレンジメント制作など、花に関する体験を通年参加型で行い、その体験記等をSNSで発信する取り組みを行った。

「福よか花キッズ」の取り組みの概要

	実施日	開催場所	内容
1	R1. 6. 16	福岡市植物園	刈エントーションとアレンジメント制作体験
2	R1. 7. 28	アクロス福岡	「高校生花いけバトル」見学と花産地マップ作成
3	R1. 8. 23	広川町	ガーベラ産地訪問とパッキング体験
4	R1. 9. 23		台風接近につき中止
5	R1. 10. 26	宮若市	トルコギキョウ産地訪問と花束作成
6	R1. 11. 16～17	福岡市	農林水産まつりでの花屋さん体験
7	R1. 12. 22	福岡市	活動展準備
8	R2. 2. 1	福岡市	「ふくおかフラワーフェア」見学
9	R2. 2. 18～3. 2	福岡市	福よか花キッズ活動写真展示
10	R2. 2. 24	コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
11	R2. 3. 15	コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

3 事業実施後の効果（イベント等でのアンケート結果）

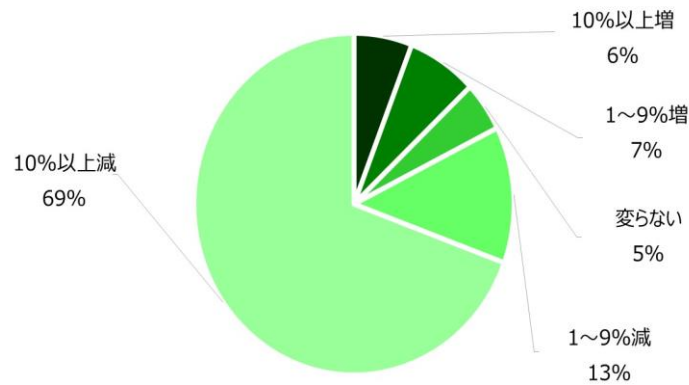
(1) 生花店等への消費実態調査

本事業による消費拡大効果を評価する一手段として、県内生花店に売上等に関するアンケートを実施した。回答生花店数は85店。

【アンケート結果（一部抜粋）】

- ・前年度（平成30年度）の売上を100とした場合、令和元年度の売上は何%だったかとの問いに対し、100以上と回答した店舗数は15店舗（全体の18%）であった。全体の売上対比の平均値は79%であった。
- ・売上が増加した要因としては、POPの添付、SNS、産地とのタイアップ等新しい取り組みを行ったこと等の回答があった。
- ・売上が減少した要因としては、「新型コロナウイルス感染拡大の影響」によるイベントの中止、冠婚葬祭の延期や規模縮小などの回答が多かった。

令和元年度の売上対比(前年度)はどうだったか？



〔 生花店における前年度との売上比較 〕

(2) イベント等での消費意向調査

①ふくおかフラワーフェアにおけるアンケート調査

花の消費状況、県産花きの認知度向上について把握するため、「ふくおかフラワーフェア」においてアンケート調査を実施した。回答者数は416名（フェア会場290名、アレンジ教室等126名）。

主な設問

- ・福岡県は花の生産が全国3位だと知っていましたか？
- ・以前と比べ花の購入頻度は増えていますか？
- ・今後、花の購入頻度は増えそうですか？

「ふくおかフラワーフェア」アンケート

花あられるふくおか推進協議会

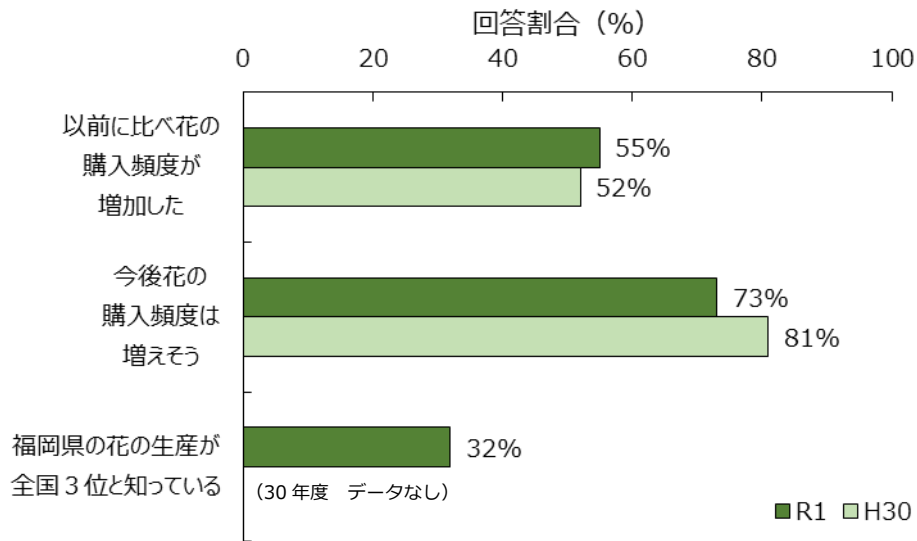
本日は、ご来場頂きありがとうございます。今後の参考としますのでアンケートにお答えください。

1 年代	1. ~20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60歳以上
2 来場の見つけ方は、何ですか（複数回答可）	1. テレビ 2. 新聞 3. ラジオ 4. インターネット 5. 県民より 6. チラシ 7. 家族や知人・友人 8. 通りすがり 9. その他（ ）
3 福岡県は花の生産が全国第3位と知っていましたか？	1. 知っていた 2. 知らなかった
4 自宅でお花を飾りますか	1. よく飾る 2. 時々飾る 3. 飾らない
5 お花の購入頻度を教えてください	1. 年に1回程度 2. 半年に1回程度 3. 月に1回程度 4. 週に1回程度 5. まったく買わない 6. その他（ ）
6 前5年前と比べてお花の購入頻度は増えていますか？（選択可）	1. はい 2. いいえ 3. 変わらない
7 これからは、お花の購入頻度が増えそうですか？（将来）	1. そう思う 2. 思わない 3. 変わらない
8 購入後、毎日観るお花がもつと満足ですか？	1. 3日程度 2. 5日程度 3. 7日程度 4. 8日程度以上
9 大切な人に花を贈る「フラワーバレンタイン」を知っていますか？	1. 知っている 2. 知らない
10 今日の感想をお聞かせください	

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

【アンケート結果（一部抜粋）】

- ・福岡県は花の生産が全国3位と知っていたかとの問いに対し、知っていると回答した人数は、131名（全体の32%）であった。
- ・自宅で花を飾るかとの問いに対し、よく飾ると回答した人数は221名（同53%）、時々飾ると回答した人数は171名（同41%）であった。
- ・以前に比べ花の購入頻度は増加したかとの問いに対し、増加したと回答した人数は、229名（同55%）であった。
- ・今後花の購入頻度は増えそうかとの問いに対し、増えると回答した人数は305名（同73%）であった。
- ・大切な人に花を贈る「フラワーバレンタイン」を知っているかとの問いに対し、知っていると回答した人数は、208名（同50%）であった。



[ふくおかフラワーフェアにおける回答割合の変化（R1 および H30）]

【アレンジメント教室に参加した感想】

- ・素晴らしいアレンジができ、楽しかったです。感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・春らしい色合いの花で気分も上がりました。楽しかったです。また季節ごとに開催してもらえたらうれしいです。
- ・とても楽しかったです。家の中で花を飾りたいと思いました。

【フラワーフェアに参加した感想】

- ・花はいつ見ても心を癒してくれる。最高。家でもいろんなところに花を常に飾っている。
- ・このイベントをきっかけにフラワーバレンタインという言葉を知りました。
- ・素晴らしいイベント。福岡が花の産地だということを知り嬉しく思いました。
- ・明るく華やかなイベントで楽しい体験もできるのがうれしい。来年も楽しみにしています。花は元気をくれますね。

② 「ウィークエンドフラワー」PRイベントでのアンケート調査

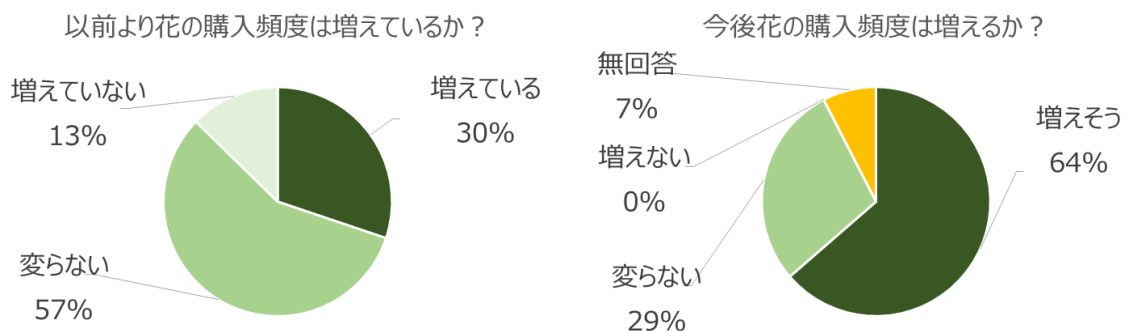
花の消費状況、新たな物日の認知度向上について把握するため、「ウィークエンドフラワー」PRイベントにおいてアンケート調査を実施した。計3回のPRイベントにおける回答者数は66名。

主な設問

- ・以前と比べ花の購入頻度は増えていますか？
- ・これからお花の購入頻度は増えそうですか？
- ・週末に花を楽しむ「ウィークエンドフラワー」を知っていますか？

【アンケート結果（一部抜粋）】

- ・以前より花の購入頻度は増えているかとの問いに対し、増えていると回答した人数は19名（全体の30%）であった。
- ・今後、花の購入頻度は増えそうかとの問いに対し、増えそうと回答した人数は42名（全体の64%）であった。
- ・週末に花を楽しむ『ウィークエンドフラワー』を知っているかとの問いに対し、知っているという回答した人数は、6名（全体の9%）であった。



〔 ウィークエンドフラワーPRアンケート結果 〕

【イベントに参加した感想】

- ・トルコギキョウの育て方はとても大変で大切に育ててあるのだなとびっくりしました。はじめてアレンジメントフラワーを習ったのでとても楽しかったです。大切に飾ります。
- ・花が咲くまでの苦勞を知って、これからはもっと長く大切に扱っていきたいと思いました。
- ・ガーベラの事を生産者の方から詳しく聞くことができ戸ても良かったし、楽しかった。ガーベラがますます好きになりました。
- ・糸島の花に親近感がわきました。次に見かけた際は購入します！！とても楽しかったです。ありがとうございました。

③ 花育・園芸体験でのアンケート調査

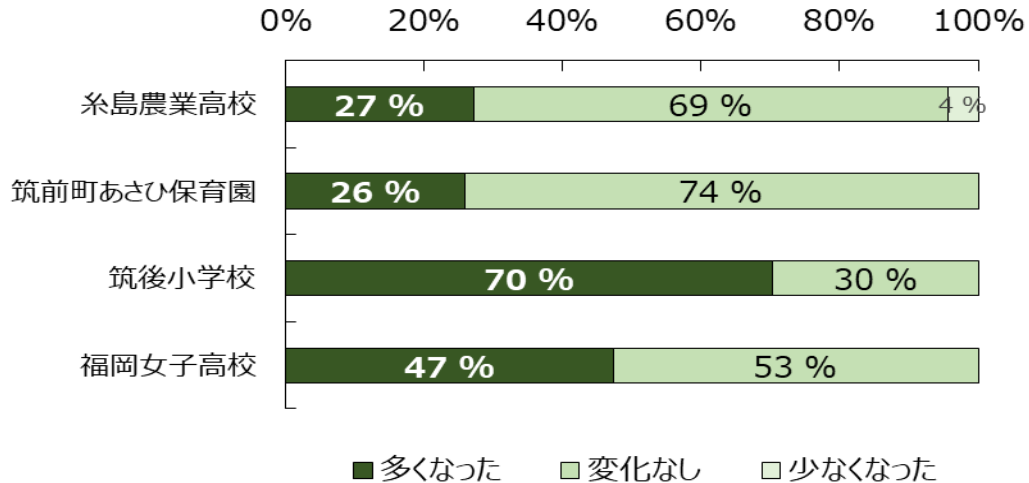
(ア) 花育体験

花育体験後の飾花の習慣化について把握するため、花育活動後おおむね2か月後にアンケート調査を実施した。4回の花育体験における回答者数は162名（保護者による回答含む）。

【アンケート結果】

- ・活動実施前と比べ、自宅で花を飾ることは多くなったかとの問いに対し、多くなったと回答した人数は、63名（全体の39%）であった。

活動実施前と比べ自宅で花を飾ることは多くなったか？



〔 花育体験実施者へのアンケート結果 〕

回答数：糸島 27、筑前町 70、筑後 27、福岡女子 38

【花育体験に参加した感想】

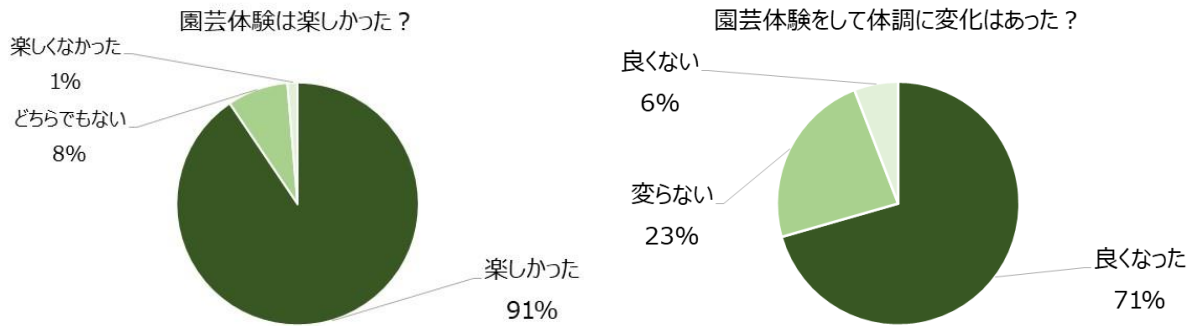
- ・家に花を飾る時が少ないため、活動後しばらくは家に花があって、雰囲気良かった（糸島農業高校）
- ・お花を飾ったことはなかったですが、園で作ったお花を持ち帰ってきたことにより、家族みんなで「お水をあげよう」などお花に興味を持つことができ良かったです（あさひ保育園・保護者）
- ・花農家さんから話を聞いて、地域の花のことが知れて、可愛く飾ることができて楽しかった（筑後小学校）
- ・実際に花を生産されている方から話を聞いて、今まで知らなかった花や名前など知識が増えたと思います。また、家に花を置いてみて家の中が明るく華やかになった感じがしました（福岡女子高校）

(イ) 福祉園芸体験

園芸体験後の福祉分野での花き活用促進、参加者のメンタルヘルス等の向上について把握するため、アンケート調査を実施した。

【アンケート結果】

- ・園芸体験は楽しかったかとの問いに対し、楽しかったと回答した人数は67名（全体の91%）であった。
- ・園芸体験をして体調に変化はありましたかとの問いに対し、良くなったと回答した人数は24名（同71%）であった。
- ・保護者に対して、体験後に花を飾ることが多くなりましたかとの問いに対し、とても増えたは14名、少し増えたは10名で、全体の63%が増加したと回答した。



〔 園芸福祉体験実施者へのアンケート結果 〕

回答数：博多高等学園 11、福岡高等聴覚特別支援学校 8、古賀特別支援学校 16、博多高等学園(2回目)38

【園芸福祉体験後の感想】

生徒

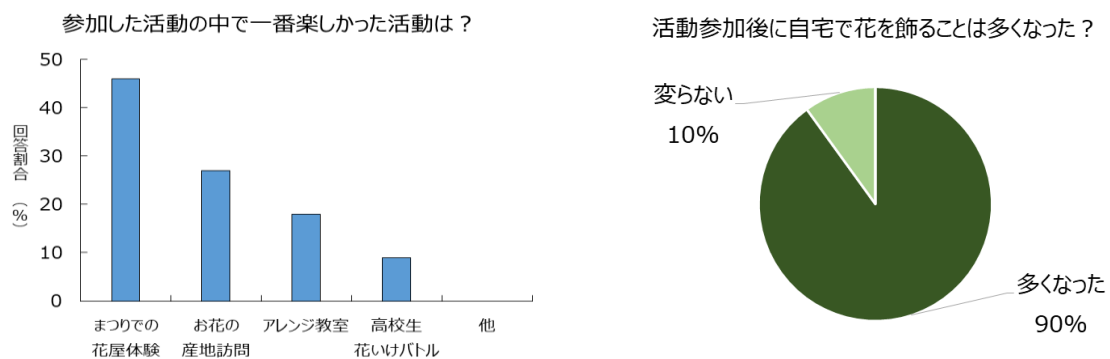
- ・自分で工夫して花をアレンジするのが楽しかったです。
- ・花屋さんに行ってみたくになりました。
- ・自分と他の人のアレンジメントを比べて、違う発想や形を感じられました。とても良い体験でした。

④ その他戦略品目の需要拡大に資する取り組み

花の消費状況等について把握するため、活動に参加した小学生およびその保護者に対してアンケート調査を実施した。

【アンケート結果】

- ・「福よか花キッズ」に参加してみて、楽しかったかとの問いに対し、90%が楽しかったと回答した。
- ・参加した活動の中で、最も楽しかった活動は何だったかとの問いに対し、46%が「まつりでの花屋体験」、27%が「お花の産地訪問」と回答した。
- ・保護者に対し、活動参加後に自宅で花を飾ることは多くなったかとの問いに対し、90%が多くなったと回答した。



〔 「福よか花キッズ」参加者へのアンケート結果 〕

【「福よか花キッズ」参加後の感想・参加した子供達の変化】

・花屋さんを見かけると花の名前を言ったり、自分の好きな花を探したり贈り物にしたりすることが増えました。(保護者)

・花キッズで一番楽しかったのは、花を育てている人達に会ったことです。みんなで競争して花を良くしたいという気持ちが強かったのがびっくりしました。(子ども)

・参加してから、娘がお花を良く観察するようになりました。花に興味を持つようになったことがまずうれしいです。今後もこのようにお花に触れる機会があれば、どんどん参加してみたいです。(保護者)

